

- 1 開催年月日 平成26年6月21日(日) 午前11時から午後12時まで
- 2 場所 和歌山県橋本市東家4-11-4
FMIはしもと株式会社 本社
- 3 出席状況 委員総数 7名(出席委員数5名、欠席委員数2名)
出席委員の氏名(敬称略) 大野和彦、神谷和生、後藤加寿恵、高崎正紀、
松田良夫(五十音順)
欠席委員の氏名 上鶴弘志、森下功
放送事業者側出席者名 代表取締役 向井景子、取締役会長 向井嘉久藏
専務 庄路章、常務 佐々木周平
- 4 報告
 - (1) 橋本市との災害協定について
 - (2) 4月からの新番組について
- 5 議題
 - (1) 番組の審議
 - ・ 検討事例番組「週刊橋本新聞」「こちら放送部です」について
 - ・ 番組全般について
 - (2) その他
- 6 議事の概要
 - (1) 検討事例番組
 - ① 「週刊橋本新聞」について
 - ・ 良い情報番組と思うので、再放送等を考えてもらいたい。
 - ・ 丁寧語が統一されていない。記事のままで良い。
 - ② 「こちら放送部です」について
 - ・ 学生の発表の機会としても良い番組だが、アドバイスが必要な点もある。
頻繁な笑い声は、止めること。
話声が二人、三人重ならないようにすること。
略語(例えば「はしこさい」)は関係者がわかっても、一般聴衆には解らない。
聴衆を意識して話をする。
 - (2) 番組全体について
 - ① 一般のラジオ聴衆に向かって話す意識で、自分たちの内輪話は止めること。
 - ・ パーソナリティだけが笑える話は、不愉快である。
 - ・ パーソナリティや一部の人だけが理解できる話では、聴く気が失せる。
 - ② 番組の特色として理解できるが、話すスピードをもう少し遅くしてほしい。
 - ③ 局のCM依頼CMIに金額が入っているのが、違和感を覚える。
 - ④ 番組審議会の評価を考慮して、番組編成の改善等を行うこと。
 - ・ メールや一部の聴取の評価だけを気にせず、放送時間帯等も考慮して、住民に広く聞いてもらえること。
 - ・ マニアックな音楽番組や地元の情報番組など、幅広い番組構成は良い。
- 7 審議会の答申または改善意見に対してとった措置
審議内容を事務所内の掲示板等に掲示するとともに、必要な担当者には放送事業者から直接説明等を行い改善に努める。
- 8 審議会の答申または意見の概要の公表
事務所に備置き 平成26年 6月25日
ホームページに掲載 平成26年 6月25日
- 9 その他の参考事項
特になし